

# 令和元年度取組状況

ものづくり工学科 一般教養 教授 小川 広

取組状況	
教育	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業要領(資料)を導入。学習方法や展開方法が理解された。</li> <li>2. コミュニケーションの積極的導入。意欲的に取り組む姿勢ができた。</li> <li>3. 評価方法や評価基準を明確した。不公平差がなくなった。</li> <li>4. 準備運動の徹底や補助運動の導入から計画的な体力作りをおこなった。負荷の大きい運動に意欲的な姿勢・態度が多く見られるようになり、大きな事故がなくなった。</li> <li>5. 柔道は日本文化の継承的役割があることを説明し、理解を深めた。気力・責任・公正・礼等を重視した態度が身についた。</li> <li>6. 課外活動(柔道部)の顧問として専門性(体育・柔道担当)を生かした指導から全国高専大会団体3年連続出場・3位入賞と併せて3名の個人出場を果たせた。</li> </ol>
研究	特になし
社会貢献	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 東京都柔道連盟総務委員</li> <li>2. 品川区柔道会副会長, 品川区柔道会審議部長, 庶務部長</li> <li>3. 品川区立体育館館内事業(柔道教室)指導員</li> <li>4. 公益財団法人全日本柔道連盟公認Aライセンス審判員(全国、東京都、品川区等各種大会参加)</li> <li>5. 公益財団法人全日本柔道連盟公認柔道指導者A指導員</li> </ol>